施設計画

センター施設への提案

体制/工程

- ・設計はプロポーザル方式の導入
- ・施工は地元業者で

施設設計

- ・東紀州地域らしさの表現
- (景観・環境・素材・色彩・歴史・生活文化・他)
- ・なつかしさ、素朴、やすらぎ、ほっとする等、心 かよう施設
- ・将来収益事業部門施設の建設計画をゾーン設定で対応
- ・管理運営がしやすい施設
- ・木造建築を主とする施設
- ・木材へのこだわりが必要(地元産材)
- ・展示室等のスペースを確保
- ・屋外展示や近隣施設の活用等も考慮
- ・収蔵スペースの確保
- ・バリアフリー対応
- ・空間を大きく取ること
- ・使いやすく身近な施設
- ・長期的継承できる施設
- ・計画地の自然環境 (気候・気象)への対応
- ・安全性・防災性の高い施設

周辺地

・センターを拠点としたアクセス網の整備

後背地整備

- ・高木を生かし、低木を切る方向で整備
- ・敷地内の自然域の生態調査を地域の人達参加で実施

施設計画の方向性

古道域景観から施設イメージ創出 地域資源を施設に生かす 自然環境への十分な対応 様々な面で古道を感じさせる施設 安全でユニバーサルな施設 みんなでつくり、継承していく施設 質が高く集客力のある施設の創造

施設の外部計画

- ・古道地域の歴史的町並み、伝統的家屋等からのイメージ創出 (木造を主とし様々な工法を検討)
- ・地域資源である地元ヒノキ、スギ材また石材等もうまく利活用 (計画立地自然条件に対する耐久性・素材の味を考慮)
- ・木材 (地域材)の質や森林管理体制へのこだわりの資源活用
- ・軒スペースを十分とり天候への対応と来訪者の休憩等会話の場計画 (歩く人に対しての大切な空間)
- ・雨・風・台風等地域特有の自然環境への対応

施設の内部計画

- ・各機能(「機能に回」)を考慮した配置、環境に回
- ・ビジター (来訪者)利用者にわかりやすい動線計画 (空間構成・視覚的サイン・誘導計画等考慮)
- ・木構造をうまく利用した開放感のある空間計画
- ・内装材にはできる限り地域材を使用し、本物志向とする
- ・外部の憩いの森との一体感を計画(外部とのつながり)
- ・通年にわたり光・風等自然エネルギーの利用計画
- ・各空間共活動、運営、管理しやすい計画

施設周辺及び環境計画

- ・車道、駐車場も含め木陰の中の施設
- ・駐車場からのアプローチ等利用者へのスムースな対応
- ・雨・風・台風等地域特有の自然環境への対応
- ・ハンディキャップを持つ人々へのサポートがしやすい施設
- ・施設周辺でのビジター (来訪者)・利用者に対しての休憩、W.C等サービス機能を計画

敷地計画参照